

フェリスモ

猫テーマに新ブランド

西宮の企業、大学と開発

通販大手のフェリスモ（神戸市中央区）は5日、西宮市内の企業や大学などと共に、猫をテーマにした商品を開発し、同日発売したと発表した。「にのみにや部」の統一ブランドで、菓子や清酒などの7商品を用意。フェリスモや参加企業のサイトで扱う。

（塩津あかね）

甘酒、ケーキなど7品

参加したのは、西宮 大手の大関、知的障害市内に本社がある清酒 者が通う「羊会武庫



川すずかけ作業所」、清涼飲料水メーカーの布引礦泉所、市内にチーズ工場を持つ食品製造の宝幸（東京）の4者。大学側は、神戸女学院▽武庫川女子▽関西学院1の学生10人。同市の「産学官連携による西宮ブランド産品創造事業」に採択された。関連の補助金を活用し、フェリスモの社員が調整役となって6月に開発を始めた。今回発売したのは、容器のふたに猫の顔を描いた「レアチーズケーキ」（1778円）や、カップの底に恋占いの文章が書かれた甘酒「巨えんぼう猫酒」（1803円）などの7商品。売上金の一部を動物保護活動のために「フェリスモの猫基金」に充てる。大関マーケティング部の吉田裕亮課長は「当社の既存商品と全く違うコンセプトで、日本酒を飲まない人が、味わうきっかけになれば」。武庫川女子大文学部4年の定立蔵

里耶さん(22)は「良い案がまとまっても、製造までに至らず苦労した。猫好きの人にぜひ手にとってほしい」と話した。

一方、フェリスモは2010年から、別ブランドの猫関連商品を手掛けている。7日には初の常設店「フェリスモ猫部」を阪急西宮ガーデンズ（西宮市）に開設。雑貨や衣類、食品などのほか、にのみにや部ブランドの新商品を含め、1000点以上を取り扱う。

猫をテーマに開発した商品を手にする西宮市内の企業の担当者と大学生▽西宮市六瀬寺町、西宮市役所